

指定金融機関の指定について

池田町の指定金融機関を平成27年10月16日から（2年間）
大垣共立銀行池田支店に指定。

<平成26年度健全化判断比率>

- 実質赤字比率 ー
(一般会計の実質収支が黒字の場合「ー」となる)
- 連結実質赤字比率 ー
(全会計の実質収支が黒字の場合「ー」となる)
- 実質公債費比率 8.8%
(標準的な財政規模に占める借金返済額の割合)
- 将来負担比率 56.8%
(標準的財政規模に占める将来負担すべき実質的な負担の割合)

<平成26年度資金不足比率>

- 北部簡易水道事業特別会計資金不足比率 ー
- 南部簡易水道事業特別会計資金不足比率 ー
- 農業集落排水事業特別会計資金不足比率 ー
- 公共下水道事業特別会計資金不足比率 ー
- 温泉施設特別会計資金不足比率 ー
- 水道事業会計資金不足比率 ー
- ※公営企業毎の資金不足額が、事業規模(料金収入の規模)に対してどの程度あるか示す指標です。

※どの会計も黒字で資金不足がないため「ー(該当なし)」で表示しています。

監査委員の決算審査意見(抜粋)

歳入総額については、予算現額に対して収入済額は84億242万円で前年比5億7,768万円減少した。歳入については㈱UNIGEN、アピ㈱を企業誘致したため、固定資産税の増収により町税は30億4,947万円で前年比2億3,680万円の増となった。

町の地域包括ケアシステムを構築し、運営することが重要と考える。来るべき高齢化社会に対応した行政と自治会との連携強化を推進されたい。

更に進む人口減少や高齢化に対応するため、世代を超えた十分なコミュニケーションを図りつつ、地域の活動主体である自治会のあり方について十分協議・検討され、より住みやすい池田町づくりに努められるよう進言する。

平成26年度国民健康保険特別会計決算

区分	歳入決算	歳出決算	実質収支(黒字)
H25年度	23億5,371万円	22億6,439万円	8,932万円
H26年度	23億5,766万円	23億1,128万円	4,638万円

加入状況

区分	H26.4.1	H27.3.31	年度平均
世帯数	3,340世帯	3,293世帯	3,317世帯
被保険者数	6,183人	6,029人	6,097人

平成27年度一般会計補正予算

5億47百万円を追加して
総額92億4千万円

歳入の主なもの

前年度繰越金	2億13百万円
地方交付税	1億43百万円
町債	99百万円

歳出の主なもの

総務費(管理費他)	3億42百万円
民生費	36百万円
土木費	32百万円